



年頭にあたって

新年明けましておめでとうございます。

皆様方には、ご家族お揃いでよいお年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

官政権は、昨年12月24日に「経済成長と雇用の創出」をうたった2011年度政府予算案を、閣議決定しました。あつい日本、元気な日本の一日も早い復活を願ってやみません。

地方の時代、名実ともに地方分権が実現し、特色ある地域づくりが出来ることを大いに期待するところであります。

伊賀市におきましては、伊賀市総合計画(平成18～平成27年まで)に基づく後期基本計画(平成23～平成27年まで)の策定に向けた取り組みがなされています。壬生野地域まちづくり協議会といたしましても、伊賀地区(自然と調和した安心・安全・元気なまちづくり)の計画策定に取り組み、その間多くの方々のご意見などを賜り成案のもと過日答申をしたところであります。

なお、昨年のまちづくり広報誌「コミュニティみぶの」第63号・64号に掲載したとおり自治組織のあり方の見直しが行われ、地域の行政窓口一本化と地域包括交付金制度に改正され、自治組織の役割の明確化と行政窓口の一本化が図られると共に、自治振興費が一括して交付金で住民自治協議会に支出されます。いままでどおりの事業が出来ますが特色ある取り組みも可能となります。大いなる議論をいただき地域発展のための取り組みをお願いしたいと思います。

市民センターは、地域みなさんの施設です。気楽にご利用いただき今後の壬生野について篤く語っていただければ幸いです。

“ふるさとの継承と新たな住民自治の創造”という基本方針のもと、「ひとが輝く地域が輝く」～住みよさが実感できる自立と共生のまち～をめざし、壬生野まちづくり協議会として努力をしております。素晴らしい地域づくりのため、一人でも多くの皆様方の参画をいただき、ご支援、ご活動をお願いいたします。

壬生野地域まちづくり協議会会長 山岡耕道

新春に向けて

～西之澤区では～

＜いきいきサロン・ひだまりの会＞ リース作り 12/13 (月)

今回は、園芸福祉グループ「あしたば」の皆さんに指導して頂き、お正月の「リース作り」を楽しみました。

『しめ縄リース』に、松・梅・水引・手まり・羽子板などのお正月にちなんだ『飾り物』をあしらっていきました。どこに何を飾るのか、みんななかなか決まらずにしばらく悩んでいました。でも、さすがに経験豊かな人達です。しめ縄作りや花生けの体験から、アイデアが生まれ、工夫がなされ、個性的な華やかなリースが次々に仕上がっていきました。

その後のティータイムには、「あしたば」の皆さんとお話もはすみ、楽しい時を過ごしました。



＜老人会と子ども会＞ しめ縄作り 12/19 (日)



老人会の皆さんに子ども会の小学生たちがしめ縄作りを教えてもらいました。この行事は、もう20年近く続けられていて、始めのころは草履作りもしたそうです。低学年の子たちはやはり難しそうでしたが、おじいさんやおばあさんの手元を見ながら、縄をぬいあわせようと頑張っていました。高学年になってくると、回数を重ねている分、手慣れてきているようでたくさん仕上げられていました。

＜更生保護女性の会＞ 花畑作り

西之澤区の中心にあたるバス停近くの畑に、更生保護女性の会の皆さんがいろいろなお花を植えて、区民を楽しませてくれています。昨年の夏から秋には、千日紅やサルビア・マリーゴールド・コスモス



などが咲き誇っていました。一画でさつまいもも育て、子どもたちと焼き芋を楽しんでくれました。

11月には、パンジーや葉ボタン・チューリップや水仙の球根などを植えてくれました。ハート型に植えてくれてあるのも、なんだか心が温まります。

壬生野地区の皆様も西之澤区内を通る時には、ぜひ車を止めて、お花を楽しんでください。きっと季節を感じ、心を和ませてもらえることと思います。くれぐれも停車には気をつけてくださいね。



編集後記

さあ、新たな年のスタートです。昨年仕残した事柄がありませんか。年の初めに一年の計をしっかりと立てましょう。と言いつつ、小誌も毎年通り食べて、飲んでの寝正月。それではいけません。今年から「まちづくり協議会」の役割が重大で責任あることになります。地域の皆さんによくやっているとお褒めをいただくようメンバー一堂頑張りますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

◇◇◇◇ ご意見・お問い合わせ・投稿は、下記までお寄せ下さい。 ◇◇◇◇

壬生野地域まちづくり協議会広聴広報実行委員会 TEL: 45-8900

人権同和のお話

昨年開かれまして第35回いが
まち人権同和教育研究大会の全体
会還流で、「止揚の会」事務局の中
倉茂樹さんから講演をいただきました
した。そのお話のあらすじを紹
介します。

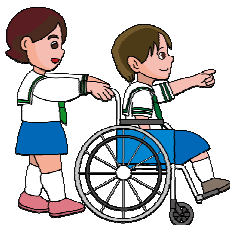
テーマ

ぬくもりを感じて

小学生の頃、いじめられた。人
権学習は昔のことばかりで、いじ
めの解決にならなかった。

高校の時、車椅子の子がいた。
署名を集めて議会を動かし、高校
にエレベーターを付けた。

あって当たり前だけど、県内す
べての学校に
エレベーターや
スロープを付
けるのが夢だ
と彼は語った。



ある女の子、部落の子と交際し
て妊娠。親戚が「部落の子はいら
ん。」と中絶手術の予約をしてき
た。それを知って彼女は「かけお
ち」した。いまだに父方の親戚に
は会っていない。

高校の時、人権集会で立場宣言
被差別部落出身であることを明
かすこと。をした。

いじめられてきたことなど自分
の弱い部分を15分間語ったら涙
があふれてきた。それを聞いた友
人がマイクを借りて全校生徒の前
でこう言った。「僕はピーマンが嫌
いです。」はじめはその意味がよ
くわからなかったが、その友人は、
野菜が全般的に嫌いで、一度もピ
ーマンをしっかりと食べたことが
なく、「食べず嫌いはやめよう。」
と誓ったという意味だった。
他の友人はこう言った。「親から
聞いた話で『部落の人はこわいで
のう。』と言われて本当に『部落の

人はこわいものなのだ。」と思い込
んでいた。中倉の話で間違ってい
る自分に気が付いた。」と言ってく
れた。この時感じた「ぬくもり」
を今度は、他の人にもあげたいと
思った。

同和教育を受けてきたはずの年
代の人が、事件を起こすケースが
増えている。教育も講演も受けて
いない70才のおばあちゃんは、部
落差別をしない。
部落の人と深く、
長く付き合っ
ているから。



被差別部落出身者との結婚は、
30〜40% 反対される。同じよう
に、障がい者の場合、50〜60%、
トランスジェンダー（※）の場合、
90%が反対される。

「ひろみ」という女性と交際を
始めた。私が被差別部落出身とい
うことは伝えてあった。ひろみは
「一緒に闘うからね。」と言ってく
れた。彼女は両親に「良い人だ。」
と言って売り込んでくれたが、彼
女の両親と会うことさえ出来なか

このままだと彼女の両親に会え
そうもないので、私が講演してい
るビデオを見てもらった。

彼女の父は、「やめてくれ。」と
言った。母は、途中で発狂して家
中を走り回った。まともに見ても
もらえないビデオなら返してもら
おうとしたら、彼女の兄が捨てて
しまった。彼女の姉は「来るとき
は必ず電話して。」と言ってきた。
会わせないためだと思った。

彼女にプロポーズをした。1年
経って彼女から OX の返事をもら
った。両姓の合意に基づき7月
12日に入籍しようとしたが「その
日はいやだ。」と彼女に反対され
た。その日は仏滅だった。
入籍したことを彼女の両親に電話
で伝えた。それ以来、嫌がらせの
電話も何もかかってこなくなっ
た。

子どもが出来て「里温リオン」
と名付けた。彼女の両親に子ども
の写真を撮って送った。
1か月経ったので、子どもを見
せに彼女の両親に会いにいった。
しかし、彼女は行きたがらなかつ

た。なぜなら、彼が彼女の両親か
ら嫌なことをされると思ったから
だった。

居間に通され、彼女の小さい頃
の話を彼女の両親から聞かされ
た。「夕食を食べて帰れ。」と言わ
れたが、「また来ます。」と断った。
私は、私が生まれた「部落」が
好きだと伝えた。やさしく、暖か
な笑顔で見送ってくれた。

親の幸せは、子どもが幸せにな
ること。子どもが幸せになるのに
親に気をつかう必要はない。



地震、火災発生・・・その時、あなたは 何ができますか。

王生野地域まちづくり協議会運営委員会(参加者 19
名)は、)去る 12 月 11 日(土)に体験型防災学習施設大
阪市立阿倍野防災センター(入館無料)を訪れ、災害時に
必要な行動を体験学習しました。



震度7体験コーナー



地震発生直後は、火災につながるモノがいっぱいです。
ガスコンロの火やブレーカーなど危険性のあるものを早
く止めて二次災害を防ぎます。火災による煙が充満した場
合は姿勢を低くして避難しましょう。

119 番通報は落ち着いて、火災や事故の状況を詳しく
伝えることが大切です。火事か救急か、場所はどこか、何
が燃えているのか、事故でどうしたのか、近くの目標物は
何か、自分の名前と電話番号を、ゆっくり、はっきり、応

答しましょう。また、火災、急病人などを発見したら大声で近くの人に知らせましょう。

った。彼女の兄が聞き合わせをし
て、私の素性を調べた。彼女の母
は被差別部落出身者が嫌いで、彼
女に「彼と別れる。」と言っまで、
家族、親戚と朝まで話し合いが続
いた。

経験上、被差別部落出身者との
結婚に反対する親戚を説得できる
ケースは少ない。そんな時は「別
れる」と言ってその場を収めるこ
とも必要である。

友達に相談したら「大したこと
はない。感情的になっている人に
何を言っても無駄。電池が切れる
冷静になる。まで放っておけば
よい。」と言われた。



※：狭義には、「性別違和」を感じている人の中
で、反対の性での生活もしくは、既存の性役
割にとらわれない形で生活を望みながらも、
形成外科手術までは望まない人。